

地域学校協働連携NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



恵みの森体験 ～只見町立明和小学校～

6月27日(金)、明和小学校1・2年生の生活科において実施した「恵みの森体験」取材しました。恵みの森は、只見町布沢地区にあり、国有林の保存活用を目的に「郷土の森」として指定を受けています。ブナ林を観察したり、沢遊びをしたりと自然体験をするにはもってこいの場所です。

「この葉っぱ、何だろう?」、「ブナの木、触ってみていいですか?」、「(沢に入って)水が冷たくて気持ちいい!」など、五感を使って自然に親しむ子供たちの姿を見ることができました。



<ガイドの方の話>

この子供たちは只見の子供たちです。今のうちに、山に慣れ親しんでもらい、将来、結婚をして子供が生まれた時に、今度は家族で来てもらえることが一番の望みです。



<明和小学校教諭より>

初めて恵みの森に来た子供もいます。自然に親しむことで、こんなに楽しい場所があるのだと気づき、素晴らしい自然に囲まれた只見町を大切に思う気持ちをもち続けてほしいと思います。



<明和小学校教諭より>

バスを降りた瞬間に、「自然のにおいがする!」という子供たちの元気な声が聞こえました。

子供たちは体全体を使って、自然を感じることができたようです。



<明和小学校児童の感想>

川とかを歩いてビショビショになったり、クワガタを見つけたりして、とても楽しかったです。

ガイドの方も一緒に水遊びです⇒



この日は、3・4年生も「癒しの森(只見町布沢地区にあり、ブナ林を満喫できるトレッキングコースとなっている)」で体験活動を行っていました。3・4年生は、只見小学校、朝日小学校との3校合同での体験学習です。交流により、多様な気づきや考えを共有することができるようになります。学区を越えて地域連携を行うことで、その効果が上がることが期待されますね。

地域連携担当教職員の役割

明和小学校の地域連携担当教職員は、先日の研修会で事例紹介をしていただいた舟木希主査です。今回の体験活動においても、ガイドとの調整などを担いました。